

市議会が9月議会の様子も報告、意見交換会も

上越市議会主催の秋の議会報告会・意見交換会が16日から市内4会場で行われました。今回の特徴は、議長及び常任委員会報告者全員がスライドを使って報告したことです。まだ不慣れなところもありますが、わかりやすい報告への第一歩です。

1日目の吉川会場では、それぞれの委員会報告の後、「新水族博物館・うみがたりへ3回行ったが防犯対策を強化してほしい。暗くなると段差のある歩道はあぶない。外灯設置を。また、うみがたりの近くの海岸沿いの環境整備をしてほしい」「上越市の原子力災害避難計画は不十分。正しい情報の元に整備してもらいたい」「高校生の通学における時間的、

経済的な負担の軽減を考えて」「いま、林業をどうしていくかが問われている。今後、森林管理の主体は市に移行していく。市役所に林業の専門家を配置するなど体制を強化すべき」などの要望や意見が次々と出されました。

2日目の三和会場(写真上)でも、「第2庁舎火災後、防犯カメラを40台設置したというが少ない気がする。どうなのか」「今年の9月頃からショートステイが減らされてきている。利用者もスタッフもあわてた。どういう基準で決まったのか教えてほしい」「4月からごみの分別方法が変わり、最終処分するごみの量も減ったのではないか。どれくらい減ったか」「準用河川、行政はまった

くといってよいほど管理してくれない。錦川の両岸それぞれ1500メートルくらい、近くの田んぼをつくっているものによれといわれてもできなくなっている。何かいい方法はないか」「今夏の干ばつで消雪井戸の水を農業用水に使うという話があったが、土地改良などと連携してマニュアルをつくってもらえないか」などの質問や要望が相次ぎました。

切実な要望次々と出される 厚生委と障害者団体との懇談会

市議会厚生常任委員会と心身障害者福祉団体連合会の懇談会(写真下)が19日、行われました。

同連合会の藤田会長は、「国連でも決議されているように、私たちの社会は共生社会でなければならぬとされているが、日本では実行にあたっては道半ば。障害者雇用率の不正、優生保護法の問題などがあったが、きょうはハード、ソフト両面での課題について、よろしくお願ひしたい」と挨拶されました。

その後、各団体の代表が、「市が管理する公共施設の利便性の向上」「障害者が生活するグループホームの整備」「視覚障害者が金融機関で口座開設及び預金の払い戻しなどを行う際の利便性向上」などについて説明し、意見交換しました。

日本共産党議員団の橋本議員は厚生常任委員ですが、「実際にどんな問題でどんなふう困っておられるか理解できなかった。要望に応えるためにこれからも頑張っていきたい」とのべています。



妙高市が学校などのエアコン 設置で補正予算、市議会は 全会一致で可決

妙高市の臨時議会が13日開かれ、学校・保育園等へのエアコン

(冷房設備)設置等のための実施設計予算が計上された一般会計補正予算が全会一致で可決されました。

この補正は先の市長選で、入村市長が公約していたものですが、新年度予算を待たずに早速実行に移したことで、市民からは歓迎の声が上がっているそうです。上越市でも続いてほしいものです。

参考までに、妙高市の今回の取組概要を紹介します。

計上された予算は、保育園・認定こども園、小・中学校における児童生徒等の熱中症対策や、学校環境の改善を図るため、冷房設備の整備に係る実施設計委託料を補正するもの。概算事業費は、約6.2億円。平成31年2月までに実施設計委託業務完了する見込みで、その後、工事予算提案、契約を経て、同年6月には全小中学校の普通教室、園への設置完了見込みと言います。なお、全小中学校の特別教室への設置は平成32年～33年度に予定しているとのこと。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.613 2018年11月25日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)